

平成27年度・平成28年度乙訓圏域障害者自立支援協議会全体会会議録

日 時 平成28年5月20日（金）午後1時30分から3時30分

場 所 京都府乙訓保健所 講堂

出席者 全体会委員 32人

乙訓障がい者基幹相談支援センター・キャンパス・アンサンブル・乙訓ひまわり園(2)・向日市社協障がい者地域生活支援センター・NPO法人こらぼねっと京都・乙訓福祉会相談支援室のこのこ・乙訓福祉会ライフサポート事業所・乙訓ポニーの学校・アイリス・カメラ・ワークショップ友愛印刷・大山崎町社会福祉協議会(2)・乙訓若竹苑・晨光苑・乙訓医師会・京都府乙訓歯科医師会・乙訓訪問看護ステーション連絡会・京都府立向日が丘支援学校・京都七条公共職業安定所・長岡京市商工会・乙訓青年会議所(2)・乙訓やよい会・乙訓の障害者福祉を進める連絡会・乙訓保健所福祉室・乙訓福祉施設事務組合・向日市健康福祉部・長岡京市健康福祉部・大山崎町健康福祉部

運営委員 4人 事務局 3人

欠席 向日市社会福祉協議会・長岡京市社会福祉協議会・済生会京都府病院福祉相談室・京都府乙訓教育局
京都身障連乙訓ブロック

会議の公開・非公開 ☒公開 傍聴 7人

配布資料 ・次第

- ・平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書（案）
- ・平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画（案）
- ・別添資料

資料確認

平成27年度全体会

開会

（事務局）

・定刻になりましたので協議会を始めさせていただきたいと思います。本日はお忙しいところ協議会全体会にご出席いただきましてありがとうございます。本日、司会を担当させていただきます私、4月から事務局にお世話になることになりました能塚と申します。よろしくお願いいたします。最初にお願いなのですが携帯電話はマナーモード、もしくは電源を切っていただくようによろしく願いいたします。

それでは今から平成27年度および28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催いたします。本日は両年度全体会の同時開催のため、それぞれの委員の皆様方にご同席をお願いしていただいております。まず、正面の各市町の健康福祉部長をご紹介します。向かって左側から長岡京市の池田部長様です。

（池田部長）

・池田です。よろしくお願いいたします。

（事務局）

・続きまして真ん中が大山崎町の野田部長様です。

（野田部長）

・野田でございます。よろしくお願いいたします。

（事務局）

・向かって右側が向日市の植田部長様です。

（植田部長）

・よろしくお願いいたします。

（事務局）

・本日の終了までよろしくお願いいたします。尚、会議録作成のため本日の会議は全て録音させていただき、後日、会議録としてホームページに掲載させていただくことをご了承いただきたいと思います。

それでは、早速ですが27年度の会長である大山崎町健康福祉部長様からご挨拶をいただきまして、引き続き、会議の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長挨拶：野田 利幸 大山崎町健康福祉部長

(野田会長)

・本日は大変お忙しいところ、乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会にご出席いただきましてありがとうございます。平素は皆様方には乙訓圏域での障がい者福祉・行政の推進にご理解とご協力を賜り、この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。皆様方には平成27年度におきまして、本協議会に各団体・機関を代表してご参加をいただきましてありがとうございます。

只今、ご紹介に預かりました大山崎町健康福祉部の野田でございます。よろしくお願いいたします。乙訓圏域障がい者自立支援協議会の運営要綱によりまして、平成27年度は大山崎町が会長をさせていただきました。

この協議会は平成19年度に乙訓二市一町が共同で設置いたしましたものでありますが、今年で早や10年目を迎えております。本協議会では障がい者福祉に関する情報の共有と地域生活の課題解決のために今日まで年度ごとに具体的な成果を積み重ねてまいりました。このように10年目を迎えられるのは今日までの皆様の努力の賜物と認識しております。ありがとうございます。

さて、平成28年4月の今年には障がいのある方もない方も相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を目指した障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律、いわゆる障害者差別解消法が施行されました。

このような大きな動きの中で平成27年度の本協議会の具体的な取り組みといたしまして、相談支援部会では相談支援従事者のスキルアップを目的とした研修会を乙訓圏域障がい者支援事業所連絡協議会と共催で実施いたしました。

地域生活支援部会では緊急対応のアンケートを更に詳細に分析し、課題解決に向けた協議を続けております。

「医療的ケア」委員会では喀痰吸引等実施についての事業所アンケート等の実施や「医療的ケア」の必要な人の福祉型短期入所利用について協議をいたしました。

このように部会・委員会・プロジェクトで乙訓圏域として課題解決に向けて取り組んで参りました。関係機関・団体の皆様におかれましてはご協力に厚く御礼を申し上げます。行政も協議会の一員として共に考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。簡単ではありますが、私からの挨拶とさせていただきます。

続きまして、本日の前半の平成27年度の本協議会の事業報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

会議に入ります前に全体会の傍聴を申し出ておられる方が7名おられます。傍聴について許可をしてよろしいでしょうか？

※異議なし

・それでは傍聴を可とするということで入場をしていただきます。しばらくお待ちください。

※傍聴者入場

・それでは、会議を始めさせていただきます。お手元の次第に従い、乙訓圏域障がい者自立支援協議会の平成27年度の事業報告をいたします。本協議会の運営報告を事務局が行った後、各委員会・部会および各プロジェクトの活動報告をお願いいたします。

協議事項：平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業報告について

(野田会長)

・それではまず、協議事項の1. 運営報告を事務局からお願いいたします。

1. 運営報告 能塚 隆裕 相談支援専門職員

(能塚相談支援専門職員)

・失礼いたします。事務局から運営報告につきまして報告をさせていただきます。

※平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書(案) 運営報告(案) 読み上げ P. 1～P. 4

(野田部長)

・ありがとうございました。只今の報告に対してご意見・ご質問がございましたら、お願いいたします。尚、ご発言の前に所属とお名前をお願いいたします。

質問がないようですので、次の協議事項2. 「医療的ケア」委員会の報告をお願いいたします。「医療的ケア」委員会・高畑委員長の代理で石松副委員長様、よろしくお願いいたします。

2. 「医療的ケア」委員会 委員会報告 石松 友樹 副委員長

(石松副委員長)

・失礼いたします。石松と申します。よろしくお願いいたします。座って失礼いたします。

※「医療的ケア」委員会 活動報告(案) 読み上げ P. 15～P. 19

(野田部長)

・ありがとうございました。只今の報告に対して、ご質問・ご意見ございますでしょうか？質問等がありませんので協議事項の3. 地域生活支援部会の報告をお願いいたします。地域生活支援部会の坂本部会長の代理で奥田副部会長様、よろしくお願いいたします。

3. 地域生活支援部会 部会報告 奥田 英太郎 副部会長

(奥田副部会長)

・長岡京市社会福祉協議会地域生活支援センター「キャンバス」の奥田と申します。よろしくお願いいたします。座って失礼いたします。

※地域生活支援部会 活動報告(案) 読み上げ P. 20～P. 24

(野田会長)

・ありがとうございました。只今のご報告に対して、ご質問・ご意見ございますでしょうか？ないようですので、次に協議事項4. 相談支援部会の報告をお願いいたします。相談支援部会の伊藤部会長様、よろしくお願いいたします。

4. 相談支援部会 部会報告 伊藤 美恵 部会長

(伊藤部会長)

・こらばねっと京都の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

※相談支援部会 活動報告(案) 読み上げ P. 25～P. 29

(野田部長)

・ありがとうございました。只今のご報告に対して、ご質問・ご意見ございますでしょうか？ないようですので、次に

協議事項5. 各プロジェクトの活動報告に参ります。それでは、介護職員初任者研修プロジェクトの報告を村山運営委員様、よろしくお願いいたします。

5. 各プロジェクト報告

(1) 介護職員初任者研修プロジェクト 村山 史洋 運営委員 (村山運営委員)

・失礼いたします。乙訓ひまわり園の村山です。座って、報告させていただきます。資料の訂正がございますので、皆様、確認していただければと思います。

介護職員初任者研修プロジェクト活動報告(案)が以前のものがこちらの資料に添付されておりましたので、改めて皆様のお手元の方に配布をさせていただいております。

もうひとつ、別添資料の29ページ、平成27年度のところを右にいつていただきまして、修了者数の数が4名となっておりますが間違っており、7名となっております。訂正をお願いしたいと思います。

それでは、平成27年度の介護職員初任者研修プロジェクトの活動報告をさせていただきます。

※介護職員初任者研修プロジェクト活動報告(案) 読み上げ P. 30～P. 31

(野田部長)

・ありがとうございました。只今のご報告に対して、ご質問・ご意見ございますでしょうか?ないようですので、次に協議事項・喀痰吸引等研修プロジェクトの報告を長谷川運営委員様、よろしくお願いいたします。

(2) 喀痰吸引等研修プロジェクト 長谷川 修 運営委員 (長谷川運営委員)

・乙訓福祉会の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

※喀痰吸引等研修プロジェクト 活動報告(案) 読み上げ P. 32～P. 34

(野田部長)

・ありがとうございました。只今のご報告に対して、ご質問・ご意見はございますでしょうか?ないようですので、最後に精神障がい者地域生活支援プロジェクトの報告を石田運営委員様、よろしくお願いいたします。

(3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト 石田 早苗 運営委員 (石田運営委員)

・長岡記念財団の石田と申します。よろしくお願いいたします。座って、失礼いたします。平成27年度精神障がい者地域生活支援プロジェクトの活動報告をさせていただきます。

※精神障がい者地域生活支援プロジェクト 活動報告(案) 読み上げ P. 35～P. 36

(野田部長)

・ありがとうございました。只今のご報告に対してご質問・ご意見ございますでしょうか?それでは、協議事項につきまして全ての報告が終わりましたが、全体を通して他にご質問やご意見はございますでしょうか?ご意見等がないようでしたら、この平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会報告書を案通り、向日市・長岡京市・大山崎町並びに京都府に提出したいと思いますが、いかがでしょうか?拍手を持って確認したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

※一同拍手

・ありがとうございました。皆様に賛同していただきましたので、平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の報告書は各市町等に提出いたします。

以上をもちまして、平成27年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。尚、引き続き、平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催いたします。

(事務局)

・お疲れ様です。このしばらくの時間を利用いたしまして事務局から連絡させていただきます。本日、お席にお配りさせていただいておりますクッキーですが、このクッキーは障がい者の事業所が製造した製品でございます。本年度は乙訓ひまわり園さんにご提供いただいております。乙訓管内の障がい者作業所はクッキーを始め、パンやケーキ等の食品から布巾等の日用品・アクセサリ等様々なものを制作しております。来年度以降の全体会や協議会が関係する各種イベント等につきましても積極的に提供していきたいと考えております。特に本日まで出席の皆様の中で福祉以外で、何か色んなイベント等を検討される時にぜひこういった障がい者製品を利用できないかという風にご検討いただけないかなと思います。よろしくお願いいたします。

平成28年度全体会

(事務局)

・それでは只今から、平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を開催いたします。この協議会は乙訓二市一町で共同設置されたもので、乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営要綱に基づき、会長職には二市一町の健康福祉担当部長がその職に定められておりまして、平成28年度におきましては長岡京市健康福祉部長の池田部長がその職についていただくことに決まっております。それでは、池田会長からご挨拶をお願いいたします。

・会長挨拶：池田 裕子 長岡京市健康福祉部長

(池田会長)

・只今、ご紹介いただきました池田でございます。よろしくお願いいたします。昨年度、27年度についてはご協議いただいたのですが、様々な課題が出ております。今年度も引き続き、皆様と協議をさせていただいて、この圏域の障がい福祉がひとつでも前に進むように取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ協力の方をよろしくお願いいたします。

それでは、議事を進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。若干、時間が押しておりますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。

平成28年度の最初の会議でもありますので人事異動等で代わられた職員さんもおられますので、前年度から引き続きの委員さんもおられますが自己紹介の方をお願いしたいと思います。右手から順にお願いいたします。名簿の方は事業計画の方に入っておりますので、ご参照いただきながら、よろしくお願いいたします。

※自己紹介

・どうもありがとうございました。これより平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画(案)についてご協議をいただきます。協議事項の説明につきましては1～3と4～6とを分けて、それぞれ一括して説明させていただいた後、ご協議をお願いいたします。それでは、事務局より事業計画(案)のうち協議事項1～3について、それぞれの説明をお願いいたします。

協議事項：平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画（案）について

提案：能塚 隆裕 相談支援専門職員

1. 運営要綱の一部改正

（能塚相談支援専門職員）

・それでは事務局より平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画（案）について説明させていただきます。座って、説明させていただきます。

まず、議題1の乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営要綱の一部改正についてでございますが、4ページに運営要綱がございます。この要綱自体の文章には変更はないのですが、委託相談支援事業所として新たに「相談支援事業乙訓若竹苑」が指定されたことに伴いまして、この要綱の別表1（6ページ）の中の相談支援センターと書いていますが、その一番下に「相談支援事業乙訓若竹苑」と横線が入っています。それと、別表2の運営委員の方も「相談支援事業乙訓若竹苑」と入っていますので、これを追加する必要があります。これに関連してですが、3ページの委員一覧の方で事務局の方がフライングしてしまっているのですが、表の一番上の相談支援事業所の中に今日のお話でご承認いただけるのであれば、「相談支援事業乙訓若竹苑」が入ることになります。尚かつ、運営委員の相談支援事業所の中に、こちらもフライングで入ってしまっているのですが、今日、ご承認いただいた後に、手続きを踏ましてもらい、正式にこの名簿の中に名前を入れていくということで考えております。また、最後の9ページに関係図が書いてあります。運営委員会と囲っている部分も一番最後に「相談支援事業乙訓若竹苑」というのが追加になります。議題1について長くなりましたが、基本的には相談支援事業所が1ヶ所増えるに伴って表の改正をさせていただくということです。

2. 専門委員会及び専門部会の設置について

（能塚相談支援専門職員）

・基本的には平成27年度と同じ部会を設置するということで提案させていただいております。

（1）「医療的ケア」委員会

・「医療的ケア」が必要な方の短期入所の利用について、中心に協議いただきます。今年度につきましても短期入所、地域生活支援事業の支援のあり方を中心に検討を深めていきたいと考えております。

（2）地域生活支援部会

・26年度に実施したアンケートの結果を分析し、地域生活拠点について協議を行ってきました。また、向日が丘支援学校の卒業生の進路確保についても色んな協議を行ってきました。今年度につきましても引き続き、緊急時の対応を始めとする地域生活上の課題につきましても協議を深めていきますと共に支援学校卒業生の進路の確保についても協議を進めてまいりたいとしております。

（3）相談支援部会

・より良い支援を追求するために相談支援専門員のスキルアップのための研修、事例学習、市町の障がい福祉計画についての学習を行ってまいりました。今年度も引き続き、相談支援体制の整備・充実、支援員の力量アップのための事業を進めてまいりたいとしております。

以上3つの委員会および部会の設置につきましては先程、27年度報告書の中でご報告がありました様々な事業活動を進めてまいろうとしております。

3. プロジェクト等の設置について

（能塚相談支援専門職員）

・次に3つのプロジェクトについてご説明いたします。基本的には昨年度と同様のプロジェクトを設置しようと思っております。

（1）介護職員初任者研修プロジェクト

・障がい者支援員の人材確保のため、介護職員初任者研修を実施団体である「長岡京市社会福祉協議会」と協力して進めてまいることとしております。

(2) 喀痰吸引等研修プロジェクト

・「医療的ケア」に係わる介護職員認定研修事業ということで実施団体でお世話になっています「乙訓福祉会」と協力して進めてまいります。

(3) 精神障がい者地域生活支援プロジェクト

・引き続き、精神障がい者支援ネットワークの一層の充実を図るために協議を深めていきたいと思っております。以上3つのプロジェクトにつきましてはそれぞれ先程の部会や委員会と密接な関係がございますので、介護職員初任者研修プロジェクトについては地域生活支援部会、喀痰吸引等研修プロジェクトにつきましては「医療的ケア」委員会、精神障がい者地域生活支援プロジェクトにつきましては地域生活支援部会と相談支援部会、と連携を深めながら進めてまいりたいと考えております。長くなりましたが、以上3点、提案させていただきました。

(池田会長)

・事務局より説明が終わりましたので、これより協議事項1～3についての協議に入ります。ご質問・ご意見等があれば所属とお名前を述べてから発言をお願いいたします。ご意見等ございますでしょうか？

(河合委員)

・乙訓の障害者福祉を進める連絡会の河合です。私どもの連絡会は主に知的障がいのある人の家族が作っている団体や通所事業所の家族会で作っている連絡会です。全体会の構成員の皆様には常日頃、この自立支援協議会のみならず様々な場面で障がいのある人の支援でお世話になりましてありがとうございます。

2つ述べたいと思うのですが、ひとつ目は専門委員会や専門部会、今年度も昨年度と同様に同じ委員会・部会が設置されたのですが、その委員会・部会で協議する課題の整理についてなのですが、昨年度もそうだったのですが、例えば緊急時対応というのが現在、家族にとっての大変関心のある、すごくニーズの高い課題なのですが、これについて精神障がいの方のご家族の方からもご本人の緊急対応ということで出ていたと思うのですが、どの部会で協議をしていくかということの整理等をきちんとしていただきたいという風に思っています。

それと、少し細かいことになるかもしれませんが、その緊急時対応のことについてということと、この自立支援協議会で協議して、施策提言をして制度化された入院時コミュニケーション支援事業についてですが、その二つについて、それぞれサービスを利用されている方の計画相談が実施されていますが、その時のアセスメントの時にしっかりニーズを把握していただくなり、あと入院時コミュニケーション支援事業でしたら、その該当者になるのかどうかということもきちんと把握していただいた上で、サービス等利用計画に盛り込んでいくということがしっかりできていってほしいというのが家族の思いですので、よろしく願いしたいと思います。これは要望という形になります。

もうひとつは質問になるのですが運営委員会についてです。運営委員会も会議をたくさん定例で開いてくださっているのですが、ここの運営について例えば進捗をどなたがしていて、どんな風な記録をされているのかについて、これは質問なので答えをお願いしたいと思います。

(池田会長)

・1点目の緊急時対応についてはどこで協議をしていくかということについてはそれぞれの部会で緊急時対応についての課題をひとつ設けてほしいという内容で良かったですか？そうすると返さないといけません。緊急時対応については先程、説明がありましたように「地域生活支援部会で対応について協議していきましょう」ということでした。今、もうひとつお話があったのが精神障がいの方の本人さんの緊急時対応をどうするかということになると、3つ目の相談支援部会の方でということにもなりますが。

(河合委員)

・そうなんですか？

(池田会長)

・ならないんですか？

(河合委員)

・そこはよくわかりません。地域生活支援部会かもしれませんし、その辺りがよくわかるようにしていただけたら良いのと、その計画相談のところで最初にアセスメントの時等に盛り込んでいくということはこれは別に協議等ではないと思うのですが、そういう風な認識を持っていただければ良いかなという風には思います。また、相談支援部会の中でも確認をとっていったら良いかなとは思いますが。

(池田会長)

・ということです、それぞれの地域生活支援部会・相談支援部会で念頭に置いて協議をしていただきたいということです、よろしくお願いいたします。それともう一点については運営委員会の進行についてのご質問でしたので事務局の方から、よろしくお願いいたします。

(事務局)

・運営委員会の進行については基本的には毎月1回、事務局の方で招集・通知させていただいて、集まっております。司会は一応GMの私の方がさせていただいております。記録も当然、順番に書く人を決めており、それをまた参考にきちんとした形で記録としては残しております。

(河合委員)

・更に質問なのですが、その運営委員会というのはとても大事なところで自立支援協議会のエンジンであったり、舵取りであったりというようなことがよく言われます。そこで専門部会が先走りしたりしたら、もちろんそういうところを修正したりする必要があると思うのですが、そこがこれまでうまく専門部会と運営委員会で機能しなかった部分というのが私達家族会から見ていて感じることです。その辺りのところを一体どんな風な話し合いをされているのかというのがとても疑問に思ったりするところなので、例えばその会議録が見ることができるのかどうか等そういったことも教えていただけたらと思います。

(池田会長)

・事務局の方よろしくお願いいたします。

(事務局)

・答えにくいのですが、そういったご要望を今まで、これまでの記録から見てもお聞きしたことがないのですが、例えば今日だと傍聴の方がいらっしゃるのでオープンなのですが、運営委員会につきましてはこれまでオープンということではなかったと思います。会議録について誰が何を言ったかという話を「はい。わかりました。」ということにはならないかなとは思いますが、運営委員会の中でも協議をして、これについてはOKではないかということについて、どの範囲だとオープンにできるのかということは協議してみたいと思います。ただ、やはり意思形成過程というのが運営委員会や役所でもそうなのですが、そこに至るまでの協議の経過をどこまで出せるかについてはなかなか難しいと思います。ただ、出せるものについては積極的に出せる方向では検討しないといけないのではないかと思います。これは私の個人的な範疇ではありますので、運営委員会の中で協議させていただければと思います。よろしいでしょうか？

(河合委員)

・ありがとうございます。また、その結果をお聞かせいただけたらと思います。自立支援協議会では会議をたくさん行っているのですが、会議をすることが目的ではもちろんありません。「自立支援協議会はプロセスである」ということも言われていますので、プロセスを大事にしつつ結果が得られるというそういう自立支援協議会に発展していったらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(池田会長)

・運営の協議の過程ですので、どういうことが公開できて、どういうことが公開できないのかというのもあったりすると思いますので、また運営委員会の方で協議をしていただいて、結果を出していただくということでよろしいでしょうか？では、他にございませんか？ないようでしたら、続きまして協議事項の4～6を一括して説明させていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

4. 各種団体・機関の研修会等を支援する

(能塚相談支援専門職員)

・資料・平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会事業計画(案)の一番最後のページの関係図をご覧くださいければと思います。乙訓圏域障がい者自立支援協議会の括りの右側に「しょうがい者就業・生活支援センターアイリス」、「乙訓圏域障害者支援事業所連絡会」、「発達障害者圏域支援ネットワーク(乙訓ひまわり園)」、下側に「乙訓圏域障害者相談支援事業所連絡協議会」、「乙訓特別支援連携協議会」等5つの団体と色んな連携をいたしまして、団体さんがやられる事業もあると思いますので、そういった団体さんと一緒に事業に取り組んでいこうと考えております。

5. ネットワークを構築する

協議会のホームページを充実させる

(能塚相談支援専門職員)

・ホームページにつきましては本日の全体会や委員会・部会の内容につきましてアップさせてもらっています。また、研修会を始めとする様々な活動につきましてもアップできるものは全部アップさせていただいております。このように圏域の協議会で情報を積極的にホームページに出しているところは府内ではたぶん乙訓だけではないかと思っております。これから多くの方にご覧いただけるように積極的な情報公開に努めていきたいと考えております。

情報の相互提供の推進を図る

・先程の最後のページの色んな団体と連携協力を深めていくわけですが、同じようなことではありますが様々な機会を通してお互いが持っている情報、お互いに優良なものがあると思いますので、それをまた交換していきたいと考えております。

他のネットワークとの連携を図る

・他の圏域、乙訓圏域だけではなくて、府の北の方また南の方、また県境を越えた府外の団体、そんな色んな団体、連携できるところと積極的に連携していき、研修の講師をお願いする等色んなことで連携を深めていきたいと考えております。

6. その他目的達成のために必要なことを行う

障がい者の就労に関する部会設置を前提とした準備会を設立する

(能塚相談支援専門職員)

・平成30年4月に精神障がい者の雇用の義務化というのが予定されております。これに向けて障がい者の就労に関して大きな動きが予想されるということがございますので、そのために障がい者就労支援に関する部会を設置すべしということで、準備会という形で設置し、どういった内容で事業を行うのかということを検討するということで、この準備会を設立させていただければと思っております。以上、今年度につきましても色んな活動を計画しているわけですが、年度途中で予想もつかなかったような課題も出てくるかも知れません。その場合、協議会の目的に沿いまして運営委員の皆様等色んな関係の皆様と協議しながら取り組んでまいりたいと考えております。以上です。

(池田会長)

・それでは4～6の協議事項につきましてご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

(高畑委員)

・乙訓やよい会、精神障がい者の家族の会です。先程言われました6番目にもありますし、「ネットワークを構築する」ということで、こちらにも青年会議所さんや職業安定所さんや色んな形で来られていただいている、今日も良いなと思ったのですがこういうクッキーを出していただいで協力いただいて、色々と障がい者の事業所がやっていることに目を向けていただいたら助かるなあって、お願いとご協力をよろしくお願いいたします。

これから、平成30年の4月からの50人以上の規模の事業所であつたら雇用を必ずするという形になってくると思いますので、その意味でもやはり二市一町の事業所だけでなく、いわゆる企業の方々にももう少し雇用を促進していただけるような形を進めていただければなあというのはこの6番にもあつたので、お願いしたいと思います。特にネットワークというので基本的には難しい形ではなくてどういう形で、例えば精神障がいの人であればどういう形で対応したら

良いのだろうかと思われ事業所さんも多いと思います。そういう形で京都府の方から冊子がありまして、こういう障がいの症状の場合はこういう風に対応をしたら良い等の形で冊子等も京都府が出しておられるので、そういうのも活用していただいて雇用促進というものにぜひとも意欲的に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(池田会長)

・他に意見等ございませんでしょうか？準備会はまた事務局の方で準備会立ち上げの準備をしていただけるのですね？

(事務局)

・この全体会が終わりまして、部会等の参加について希望をとります。その中で当然、準備会につきましても準備会の項目を設けますので、また今日の協議会に来ていただいている代表者の方に出しますので希望していただければと思います。

(池田会長)

・他に意見はございませんでしょうか？

(伊藤委員)

・運営委員の立場から少し補足をさせていただきたいと思います。6番の障がい者就労の部会設置については精神障がいの特化したものということだけではなく、この圏域の就労の機会というのをもっと増やしていきたい、これは知的障がいの方も発達障がいの方々、精神障がいの範疇、手帳の範囲でどちらということになるかはわからないけれども発達障がいの課題も大きくなってきていますので、精神障がいの方に対する雇用促進のことも、30年のこともありますが、それに特化したものではなくて、この地域の障がい者雇用・障がい者就労ということの促進を促していく、そのためにできること、課題の確認をするということで部会設置を目的に、目標にということか前提として協議をしていくということで運営委員会の方で確認をして今回、提案をさせていただいておりますので、若干補足になりますけれどもご承知おきいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(塚本委員)

・大山崎町社会福祉協議会です。ちょっと質問なのですが部会設置というのは全体会で部会設置を決められるのか、運営委員会で決められるのか、要綱上ちょっとはっきりしないと思います。先程の事業報告の中でも中心的にやっていた「医療的ケア」委員会、これについても要綱上は記載されていなくて専門部会等という表記になっているのですけれども、先程、要綱一部改正の議案がありましたが、これも含めて要綱をもう一度見直していただいた方が良いのではないかという意見です。

(池田会長)

・色んな課題が出てきますので、その時に応じて要綱をどう、それに応じて対応していくかということも含めて、きちんと見直しをしていただきたいと思いますことだと思うのですが、如何ですか？

(事務局)

・要綱の本体と言いますか一番最初、作った時と時代が変わっているというのがありまして、ずっとそれなりに解釈はして今までできたと思うのですが、やはりおっしゃったように齟齬が出ているところはあると思います。もう一度見直して、きちっとした形に、できる範囲でやらせていただこうかなと考えていきたいと思っています。運営委員会等で皆さんと協議をさせていただいて、決めさせていただきたいと思っています。

(河合委員)

・それに関わってですが、「医療的ケア」委員会の設置要項が昨年度まではこれらと一緒に付けていただいていたのですが、今年は付いていないなと思ったのですが、それは意図的だったのでしょうか？少し年度の経過もあって内容的に少しズレてきているところがなきにしもあらずとは思っていたのですが、今回付いていなかったのは意図的だったということなのでしょうか？

(池田会長)

・意図的だったかどうかのご質問なのですが。

(事務局)

・意図的なことはありません。

(池田会長)

・自立支援協議会も先程説明がありましたように10年がたってきています。今回の各部会からの報告でも色んな課題が出てきていまして、そのひとつひとつの課題を毎年見直しながら、また新たな課題に取り組んでいっているような状況でもあります。ですので、各部会で今の状況が今の要綱に合っているのかも含めて、今年度また検討していただければ良いのかなという風に思いますのでよろしくお願いいたします。

他に意見等はございませんでしょうか？ないようでしたら、平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事業はこの計画に沿って進めてまいりたいと思います。今、お話もさせていただきましたように課題が次々と出てきております。ひとつひとつの課題を解決したらまた次の課題が出てくるという風なことにもなりますので点検仕直しながら、その経過を踏むということがたぶん先程ご意見で出していただいたような前に進む手掛かりになると思いますので、各委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それではこれで平成28年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会全体会を終了いたします。長時間にわたりまして会議へのご協力どうもありがとうございました。

閉会